

令和元年度 (2019年度) 介護サービス事業所 事故報告集計結果

介護サービス事業所から令和元年度に函館市に報告があった事故報告を集計しました
【訪問系サービス】 居宅介護支援, 介護予防支援, 訪問介護(総合事業含む), (介護予防)訪問入浴介護, (介護予防)訪問看護, (介護予防)訪問リハビリテーション, (介護予防)福祉用具貸与・特定福祉用具販売, 定期巡回・随時対応型訪問介護看護, 夜間訪問型訪問介護,
【通所系サービス】 通所介護(総合事業含む), 地域密着型通所介護(総合事業含), (介護予防)認知症対応型通所介護,
【入所系サービス】 (介護予防)特定施設入居者生活介護, 地域密着型特定施設入居者生活介護, (介護予防)認知症対応型共同生活介護, 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護, 介護老人福祉施設, 介護老人保健施設, 介護療養型医療施設, 介護医療院
【多機能型サービス】 小規模多機能型居宅介護, 看護小規模多機能型居宅介護,

函館市保健福祉部指導監査課

1 令和元年度の事故報告について

令和元年度の事故報告件数は、前年度の596件から133件増(約22%増)の729件、事業所数は147事業所から29事業所増(約20%増)の176件となりました。

函館市では、介護保険施設等指導方針において、事故の防止を重点事項に位置づけ、実地指導や集団指導等により事故に関する記録の重要性と市への報告の徹底を指導しており、事業所の記録と報告に対する意識が高くなっていることが、事故報告数の増加につながっているものと分析しております。

事故報告は、事業所の責任を追求するために提出を求めているものではありません。事故を記録し、その発生原因を分析することにより、再発の防止に生かすことが目的です。事故報告書の作成を負担に感じるかもしれませんが、事故を少しでも減らすことができるように、今後も適切な記録と報告に努めてください。

令和2年度の事故の内容としては、誤薬が最も多く307件で全体の42.1%、次いで骨折(37.7%)、裂傷・擦傷(8.5%)の順で、これらで全体の9割近くを占めています。

事故内容毎の発生場所をみると、最も件数が多い誤薬は、フロアや食堂など、介護職員等が関わる場面で多く発生しており、主に介護体制面からの防止の取組が必要になると思われます。

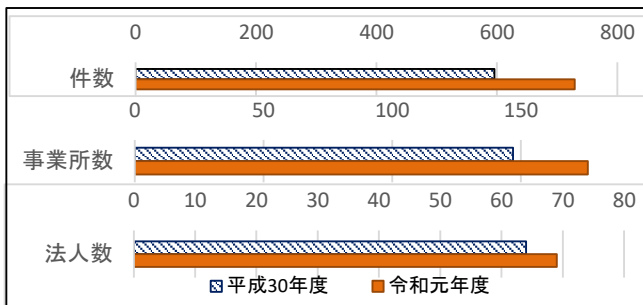
一方、次に多い骨折は居室等で多く発生しており、これはプライベート空間で利用者が一人の状態での転倒等することにより起きていることから、介護体制面だけでなく、利用者の身体能力の適切な評価や、機能訓練の実施等の取組が重要になると思われます。

各事業所において、事故が起きてしまった場合には、その原因をしっかりと分析し、再発の防止に取り組むようにしてください。

【令和元年度 介護サービス事業 事故報告集計】

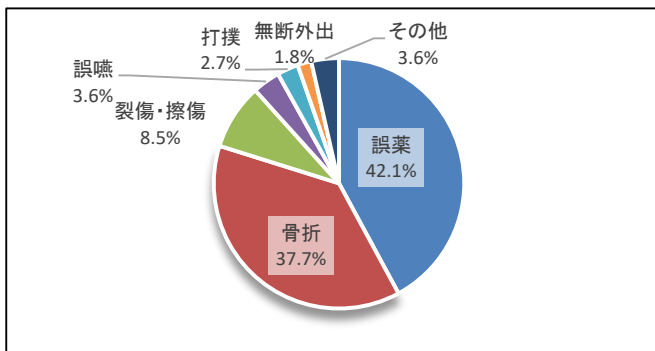
●件数

区分	平成30年度	令和元年度	増減
件数	596	729	+133
事業所数	147	176	+29
法人数	64	69	+5



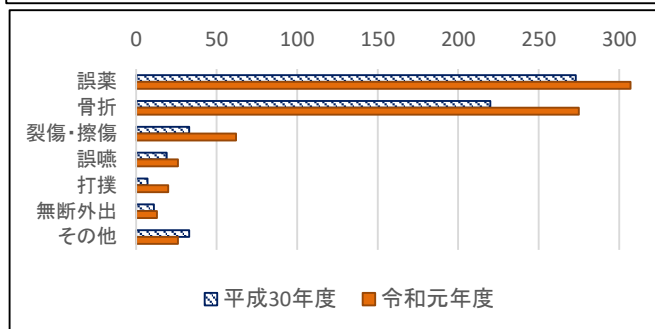
●事故内容

区分	件数	構成比
誤薬	307	42.1%
骨折	275	37.7%
裂傷・擦傷	62	8.5%
誤嚥	26	3.6%
打撲	20	2.7%
無断外出	13	1.8%
その他	26	3.6%
合計	729	100.0%



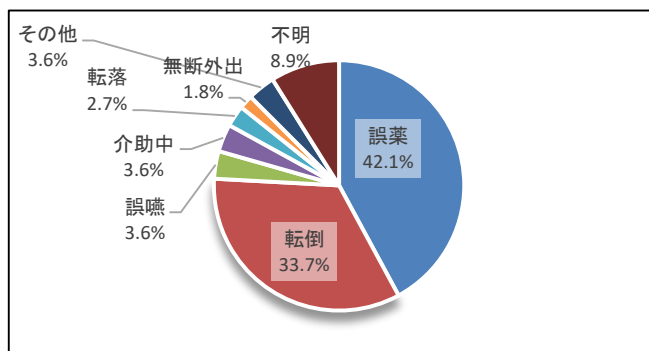
(前年度との比較)

区分	平成30年度	令和元年度	増減
誤薬	273	307	+34
骨折	220	275	+55
裂傷・擦傷	33	62	+29
誤嚥	19	26	+7
打撲	7	20	+13
無断外出	11	13	+2
その他	33	26	-7
合計	596	729	+133



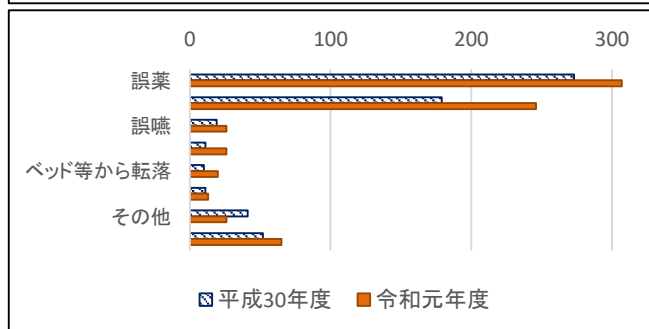
●事故原因

区分	件数	構成比
誤薬	307	42.1%
転倒	246	33.7%
誤嚥	26	3.6%
介助中	26	3.6%
車椅子・ベッド等から転落	20	2.7%
無断外出	13	1.8%
その他	26	3.6%
不明	65	8.9%
合計	729	100.0%



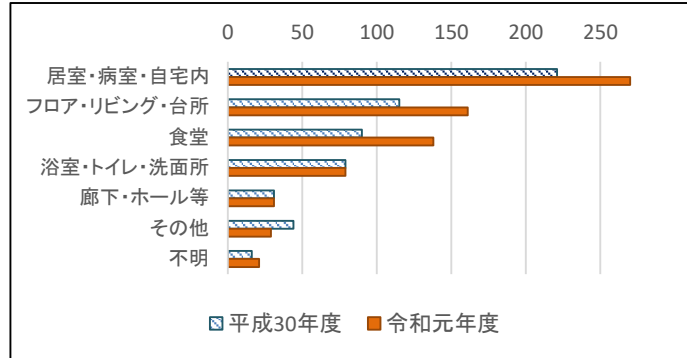
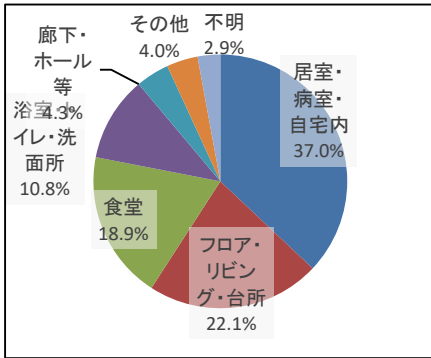
(前年度との比較)

区分	平成30年度	令和元年度	増減
誤薬	273	307	+34
転倒	179	246	+67
誤嚥	19	26	+7
介助中	11	26	+15
車椅子・ベッド等から転落	10	20	+10
離設	11	13	+2
その他	41	26	-15
不明	52	65	+13
合計	596	729	+133



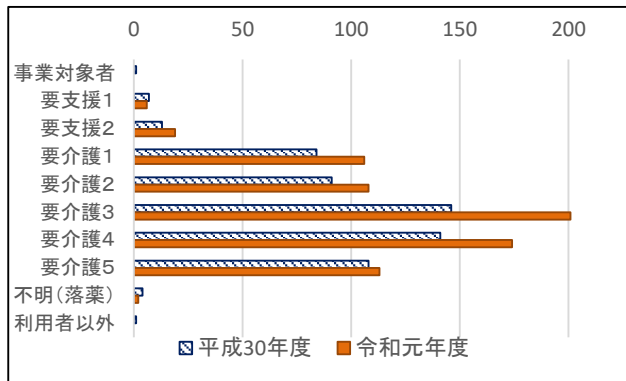
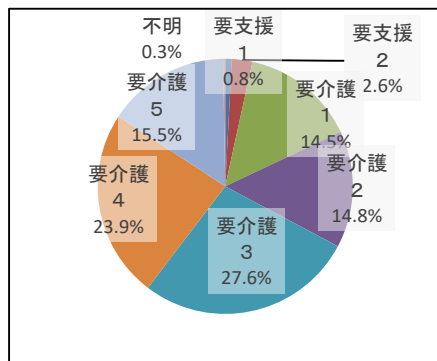
●発生場所

区分	誤薬	骨折	裂傷・擦傷	誤嚥	打撲	無断外出	その他	件数	構成比	平成30年度	増減
居室・病室・自宅内	74	141	30	4	3	1	17	270	37.0%	221	+49
フロア・リビング・台所	113	24	9	10	3		2	161	22.1%	115	+46
食堂	112	14	1	10			1	138	18.9%	90	+48
浴室・トイレ・洗面所	4	41	21	1	8		4	79	10.8%	79	+0
廊下・ホール等	1	25	1		4			31	4.3%	31	+0
その他	3	10		1	1	12	2	29	4.0%	44	-15
不明			20		1			21	2.9%	16	+5
計	307	275	62	26	20	13	26	729	100.0%	596	+133



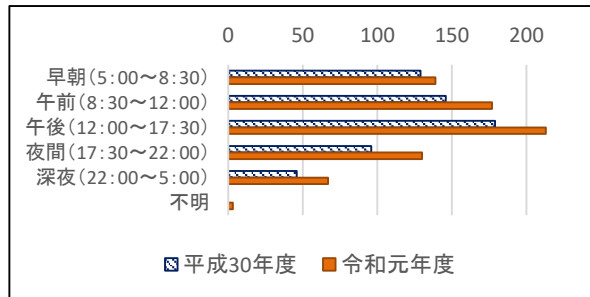
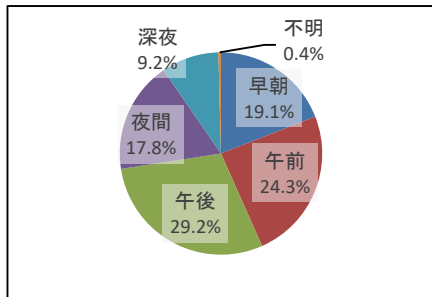
●介護度

区分	誤薬	骨折	裂傷・擦傷	誤嚥	打撲	無断外出	その他	件数	構成比	平成30年度	増減
事業対象者										1	-1
要支援1	2	3	1					6	0.8%	7	-1
要支援2	4	10	4				1	19	2.6%	13	+6
要介護1	43	43	4	1	4	3	8	106	14.5%	84	+22
要介護2	52	37	6	5	2	3	3	108	14.8%	91	+17
要介護3	72	82	17	10	8	3	9	201	27.6%	146	+55
要介護4	82	68	12	3	5	2	2	174	23.9%	141	+33
要介護5	50	32	18	7	1	2	3	113	15.5%	108	+5
不明	2							2	0.3%	4	-2
利用者以外										1	-1
計	307	275	62	26	20	13	26	729	100.0%	596	+133



●発生時間帯

区分	誤薬	骨折	裂傷・擦傷	誤嚥	打撲	無断外出	その他	件数	構成比	平成30年度	増減
早朝(5:00~8:30)	57	49	19	3	2	3	6	139	19.1%	129	+10
午前(8:30~12:00)	80	64	9	5	10	4	5	177	24.3%	146	+31
午後(12:00~17:30)	96	71	18	12	4	4	8	213	29.2%	179	+34
夜間(17:30~22:00)	65	47	8	6	1	1	2	130	17.8%	96	+34
深夜(22:00~5:00)	7	44	8		3	1	4	67	9.2%	46	+21
不明	2						1	3	0.4%		+3
計	307	275	62	26	20	13	26	729	100.0%	596	+133



●事業所のサービス種別

区分	誤薬	骨折	裂傷・擦傷	誤嚥	打撲	無断外出	その他	計	構成比	平成30年度	増減
特定施設入居者生活介護(※)	79	65	14	4		2	8	172	23.6%	158	+14
介護老人福祉施設(※)	83	60	15	6	2	1	2	169	23.2%	122	+47
認知症対応型共同生活介護	48	59	10	2	1	4	5	129	17.7%	105	+24
介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設	31	37	7	8	2		7	92	12.6%	70	+22
短期入所サービス(生活介護、療養介護)	21	26	10	1	10	1	3	72	9.9%	55	+17
通所系サービス(通所介護(※)、通所リハ、認知デイ)	12	18	2	4	5	2	1	44	6.0%	26	+18
訪問系サービス(訪問介護、看護、入浴、定期巡回、居宅)	27	4	2					33	4.5%	35	-2
多機能型サービス((看護)小規模多機能型居宅介護)	6	6	2	1		3		18	2.5%	25	-7
計	307	275	62	26	20	13	26	729	100.0%	596	+133

※地域密着型サービスを含む

